

## 事業承継で円滑な世代交代を

～認定農業者経営セミナー～

認定農業者連絡協議会（石黒司会長）は2月28日、黒石基幹支店で認定農業者経営セミナーを開き、認定農業者53人が参加した。

全国農業協同組合連合会耕種総合対策部TAC推進課の事業承継士の伊東悠太郎氏を講師に迎え、農業での事業承継の必要性を学んだ。事業承継は全ての経営体で避けては通れないテーマで、栽培技術を受け継ぐのみならず、名義変更すればOKという訳ではないため、第三者を交えた一刻も早く行う必要がある。伊東さんは自身の体験談を交え、「事業承継は家族が後から困らないために行う。円滑に進めていくためには、経営者と後継者の意識の共有が大切。親子間での話し合いは先延ばしにされる傾向があるので、第三者が入った話し合いを重ね、形のないものを形にしていく必要がある」と必要性を説明した。



事業承継を学ぶ認定農業者

## 共同の和で防除意識向上へ

～浅瀬石共同防除組合設立総会～

黒石基幹支店管内浅瀬石地区の共同防除組合8団体が合併し、浅瀬石共同防除組合が設立。設立総会が2月7日に黒石市の津軽伝承工芸館で開かれ、組合員ら約80人が出席した。

同地区は高齢化や後継者不足の影響で利用者が減少。産地パワーアップ事業を利用し、会議を重ねて設立。薬剤散布の共同作業、水揚施設や送水施設の運営、作業効率化の追求などの事業を行い、生産技術の向上とりんご園経営の合理近代化を図る。

組合長に鳴海隆弘さんが選任され、「これまで以上に共防に対する意識向上と共同の和をもってまい進したい」と抱負を話した。組合員は延べ191人で、相互の連絡を図り共通する問題点解消に向けて共同で取り組むことを目指す。



組合長に選任された鳴海隆弘さん

## 明るい店舗と笑顔の接客

～JAバンク青森店舗美粧化コンテスト～

農林中央金庫青森支店（及川勝治支店長）が主催する平成29年度JAバンク青森店舗美粧化コンテストで、田舎館基幹支店が3位となった。

審査員が県内10JAの代表支店を訪問し、店舗のイメージや窓口の対応・身だしなみなどを審査。田舎館基幹支店は、イベントの写真掲示や笑顔の接客が評価された。

工藤文夫支店長は「『お客様目線を大切に』をモットーに支店職員全員でアイデアを出し合い、明るい店舗になるよう店舗づくりに励んだ。今後も季節に合ったイベントやJAらしさでお客様が満足する店舗づくりに取り組み、笑顔で迎えたい」と話した。



写真掲示で思い出を共有



手荷物置き場など工夫した店舗